

HSBC インド株式ファンド (3ヶ月決算型)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第63期 (決算日2023年6月12日)

第64期 (決算日2023年9月11日)

作成対象期間

(2023年3月11日～2023年9月11日)

第64期末(2023年9月11日)	
基準価額	14,541円
純資産総額	4,619百万円
第63期～第64期	
騰落率	22.0%
分配金(税込み)合計	320円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)」は、2023年6月12日に第63期、2023年9月11日に第64期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC インド マザーファンド」への投資を通じて、主にインド共和国(以下、「インド」といいます。)の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

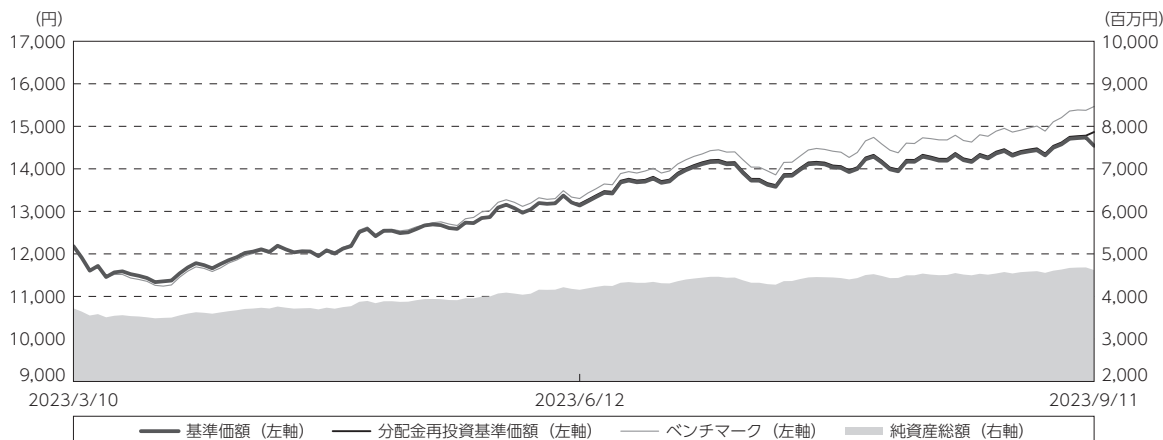
ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第63期～第64期：2023年3月11日～2023年9月11日)



第63期首：12,183円

第64期末：14,541円 (既払分配金(税込み)：320円)

騰落率：22.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2023年3月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドのベンチマークは、S&P/IFC Investable India (円ベース)です。ベンチマークの詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

当作成期間においては、投資対象であるインドの株式市場が堅調な推移となり、基準価額の上昇の主な要因となりました。当作成期間のベンチマークのインドルピー建てでの騰落率は+19.1%でした。為替においてもインドルピーが対円で6.6%の上昇となり、基準価額の上昇要因となりました。

個別銘柄では、組入上位に維持した大手民間銀行のHDFC銀行の株価が33.6%の上昇となり、ファンド全体には2.6%のプラス寄与、エンジニアリング大手のラーセン・アンド・トゥブロの株価が42.8%上昇し、ファンドには2.1%のプラス寄与、また、不動産管理・開発のDLFの株価が67.3%上昇し、ファンドには1.9%のプラス寄与となり、各々、基準価額の上昇要因となりました。

1万口当たりの費用明細

項 目	第63期～第64期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	147	1.112	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(88)	(0.667)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(52)	(0.389)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.056)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.074	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(10)	(0.074)	
(c) そ の 他 費 用	72	0.544	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.037)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(66)	(0.502)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	229	1.730	
作成期中の平均基準価額は、13,236円です。			

(注) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

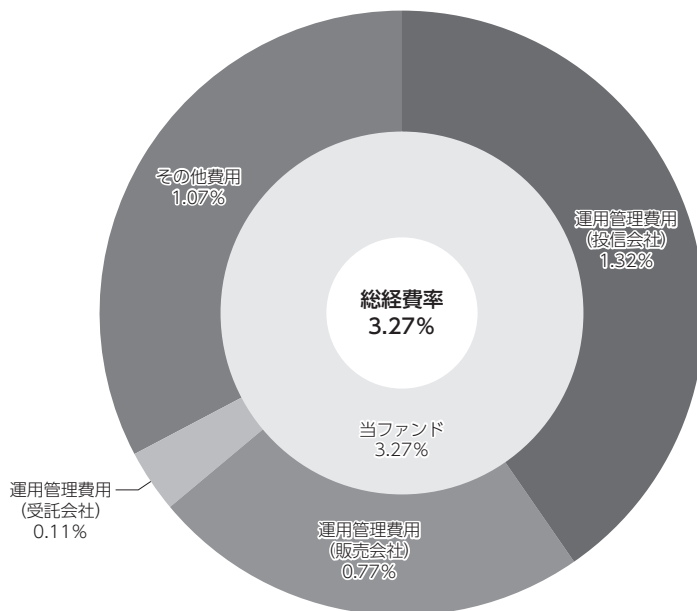
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(c) その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタル・ゲイン課税(1万口当たり63円)を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.27%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

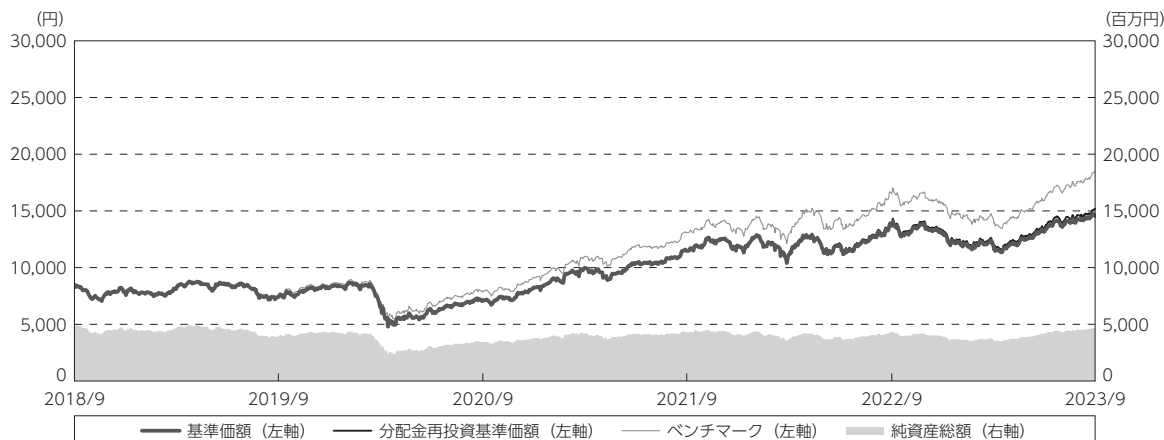
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。なお、その他費用のうち、0.94%が現地におけるキャピタル・ゲイン課税によるものです。

最近5年間の基準価額等の推移について (2018年9月10日～2023年9月11日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年9月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月10日 決算日	2019年9月10日 決算日	2020年9月10日 決算日	2021年9月10日 決算日	2022年9月12日 決算日	2023年9月11日 決算日
基準価額 (円)	8,515	7,442	7,050	11,479	13,674	14,541
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	180	400
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 12.6	△ 5.3	62.8	20.9	9.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 10.3	3.0	66.5	26.2	11.8
純資産総額 (百万円)	4,991	3,964	3,406	4,293	4,288	4,619

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、S&P/IFC Investable India (円ベース) です。

投資環境について

【株式市況】

当作成期のインド株式市場では、SENSEX 指数が前作成期末比で11.4%上昇しました。株式市場は作成期初から2023年3月下旬にかけて欧米の金融不安に伴う投資家のリスク回避志向などから軟調となったのち、作成期末にかけて途中上下に振れながらも上昇基調となりました。国内インフレ率の低下傾向、利上げ停止、外国人投資家による積極的なインド株式の購入、好調な企業業績見通しなどが上昇要因となりました。

【為替相場】

当作成期のインドルピーは円に対して6.6%上昇しました。インドルピーは対円で、作成期初から2023年3月下旬にかけて欧米の金融不安に伴う投資家のリスク回避志向などに伴い弱含みましたが、作成期末にかけて途中上下動を見せながらも上昇基調となりました。国内インフレ率の低下傾向、インドの持続的な高成長見通し、海外からの資金流入の拡大などが上昇要因となりました。

原則として、指数の騰落率は作成期首・作成期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は作成期首・作成期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

<HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)>

「HSBC インド マザーファンド」への投資を通じて、主にインドの株式等に投資しました。

<HSBC インド マザーファンド>

不動産、ヘルスケア、金融をオーバーウェイトとした一方、公益、電気通信サービス、資本財をアンダーウェイトとしました。

不動産については、インドの住宅需要が上向くなか、一般的に大手の不動産開発会社が同セクターで活発化している企業統合の恩恵を受けると判断しました。こうしたなか、DLFは四半期ごとに好調な契約販売を示していることから、同セクターにて最大のオーバーウェイト幅としました。ヘルスケアにおいては、米国におけるジェネリック医薬品価格の改善、インド国内の医薬品市場の安定した成長見通し、原材料費の低下、医療関連企業の堅調な見通しなどからオーバーウェイトとしました。金融については、大手民間銀行に引き続き投資機会が出現していると判断しました。これらの銀行では、リテール部門の大幅な成長を背景に今後も市場シェアを拡大していくと考えられることからオーバーウェイトとしました。

一方、公益では政府による規制により収益性の低下が否めないこと、また電気通信サービスではベンチマークの同セクターでの組入銘柄であるメディア・娯楽のジー・エンターテインメント・エンタープライセスを昨年に保有全株の利益確定売却を行っていたこと、さらに資本財では需要の鈍化が見込まれることから、各々アンダーウェイトとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの当作成期のベンチマークは26.9%の上昇となりました。一方、基準価額は分配金再投資ベースで22.0%の上昇となり、ベンチマークを4.9%下回りました。当作成期の総経費率は1.7%でしたので、ベンチマークとの差異の約3割が経費となります。銘柄選択における主なプラス要因、マイナス要因は以下のようになります。

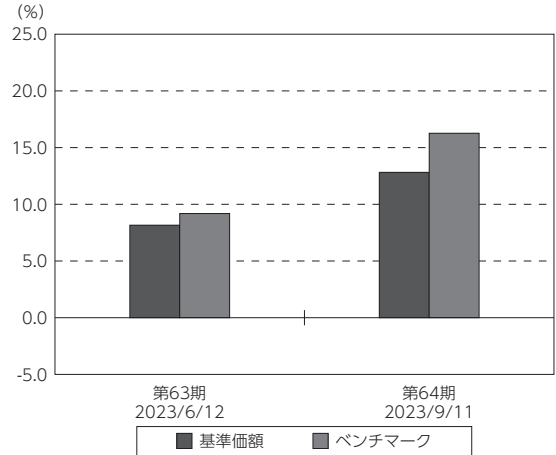
<プラス要因>

オーバーウェイトにしていた不動産管理・開発のDLFが手ごろな価格帯の不動産の増加と良好な需給状態から業界全体のファンダメンタルズが好感されていること、資本財のラーセン・アンド・トゥプロは政府による国内インフラプロジェクトの継続的な拡大の恩恵を受けると考えられること、また長期的には民間設備投資の増加も同社に利益をもたらすと見込めることから、各々、株価の騰落率がベンチマーク指数を上回り、プラス寄与となりました。

<マイナス要因>

オーバーウェイトにしていたソフトウェア・サービスのインフォシスが市場予想を下回る業績であったこと、大手商業銀行のインドステイト銀行は2022年度の利益率が市場予想を下回ったことが嫌気され、各々、株価の騰落率がベンチマーク指数を下回り、マイナス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 当ファンドのベンチマークは、S&P/IFC Investable India (円ベース)です。

分配金について

第63期および第64期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、第63期は40円（1万口当たり・税込み、以下同じ）、第64期は280円とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第63期	第64期
	2023年3月11日～ 2023年6月12日	2023年6月13日～ 2023年9月11日
当期分配金	40	280
(対基準価額比率)	0.304%	1.889%
当期の収益	34	73
当期の収益以外	5	206
翌期繰越分配対象額	7,261	8,282

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

構造改革や設備投資の増加などを通じて中期的にインドの経済成長のさらなる拡大が期待できるとともにインド企業の堅調な利益成長も見込まれることが、株式市場にとり支援材料と考えます。また、インドの良好な人口動態、グローバル企業による同国への生産拠点の移動などがけん引役となり、長期的な成長ストーリーも引き続き期待できます。さらに、インド準備銀行がインフレ見通しに対して引き続き慎重な姿勢を維持しながらも、景気に配慮して利上げを停止したことは市場にとりプラスに働くと思われれます。一方、やや高水準にあるバリュエーション、直近の雨不足に伴う野菜価格の高騰への懸念などが市場に影を落とすこともあり得ると考えられます。

<H S B C インド株式ファンド(3ヶ月決算型)>

引き続き、「H S B C インド マザーファンド」への投資を通じて、インドの株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<H S B C インド マザーファンド>

作成期初においては業種別には、金利上昇局面で恩恵を受けやすく、また大手銀行のリテール部門の成長期待が追い風となる金融、価格帯の見直しと業界再編で恩恵を受けられる不動産、米国におけるジェネリック医薬品価格の改善、国内医薬品市場の堅調な成長見通し、原材料費の低下等が見込まれるヘルスケアをオーバーウェイトとし、小売価格設定が実質的に政府の管理下にあるため収益性に影響を及ぼす可能性がある公益、相対的に利益成長率の低い電気通信サービス、バリュエーションが上昇している一般消費財をアンダーウェイトとしています。

作成期を通じて引き続き持続的な収益成長性を有しながらバリュエーションに割安感のある銘柄を選別していきます。

◆お知らせ◆

約款変更について

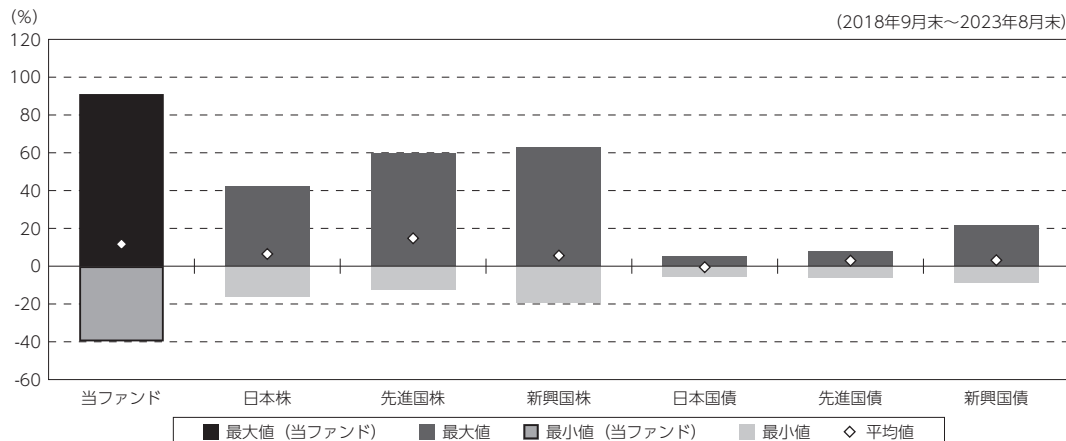
2023年8月1日付

当ファンドの主要投資対象である親投資信託「H S B C インド マザーファンド」の運用委託先を、「H S B C グローバル・アセット・マネジメント (香港) リミテッド」から「H S B C グローバル・アセット・マネジメント (シンガポール) リミテッド」に変更しました。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	H S B C インド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にインドの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	H S B C インド株式ファンド (3ヶ月決算型)	H S B C インド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	H S B C インドマザーファンド	主にインドの証券取引所に上場している株式等を投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 S & P/IFC Investable India (円ベース) をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。 	
分配方針	<p>年4回の決算時（毎年3月、6月、9月、12月の各10日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>原則として、毎決算時に安定した分配を行うことを目指します。加えて、毎年3月および9月の決算時には、基準価額水準等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	91.1	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 39.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	11.6	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2023年9月11日現在)

当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

銘 柄 名	第64期末
H S B C インド マザーファンド	102.5%
組入銘柄数	1銘柄

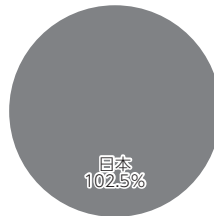
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

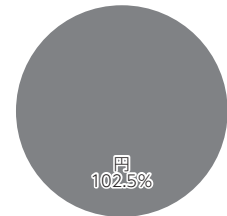
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

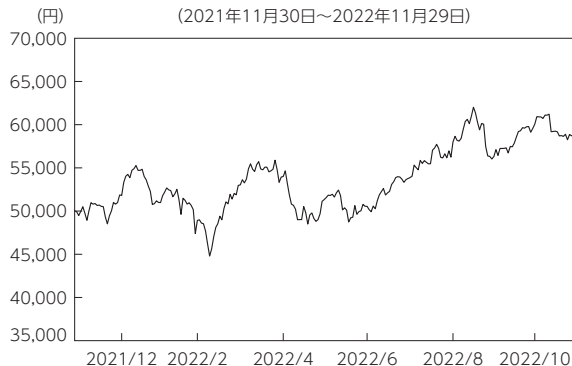
項 目	第63期末	第64期末
	2023年6月12日	2023年9月11日
純 資 産 総 額	4,155,513,719円	4,619,952,542円
受 益 権 総 口 数	3,163,203,765口	3,177,190,309口
1万口当たり基準価額	13,137円	14,541円

(注) 当作成期間(第63期～第64期)中における追加設定元本額は296,476,950円、同解約元本額は172,261,282円です。

組入上位ファンドの概要

◆ H S B C インド マザーファンド (計算期間 2021年11月30日～2022年11月29日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2021年11月30日～2022年11月29日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	53 (53)	0.100 (0.100)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	777 (46) (731)	1.460 (0.087) (1.373)
合 計	830	1.560

期中の平均基準価額は、53,256円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
 (注) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益にかかるキャピタル・ゲイン課税(1万口当たり731円)が含まれます。

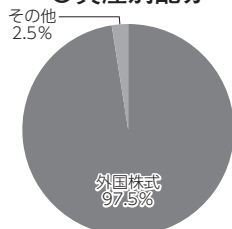
○組入上位10銘柄

(2022年11月29日現在)

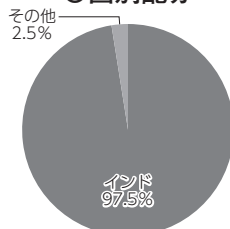
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	INFOSYS LIMITED	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	8.1
2	RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	エネルギー	インドルピー	インド	7.9
3	ICICI BANK LIMITED	銀行	インドルピー	インド	6.3
4	HDFC BANK LIMITED	銀行	インドルピー	インド	6.0
5	LARSEN & TOUBRO LIMITED	資本財	インドルピー	インド	4.9
6	AXIS BANK LIMITED	銀行	インドルピー	インド	4.2
7	SUN PHARMACEUTICALS INDUSTRIES LIMITED	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	インドルピー	インド	4.1
8	STATE BANK OF INDIA	銀行	インドルピー	インド	3.9
9	TATA MOTORS LIMITED	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	3.0
10	HINDUSTAN LEVER LIMITED	家庭用品・パーソナル用品	インドルピー	インド	2.9
	組入銘柄数		39銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

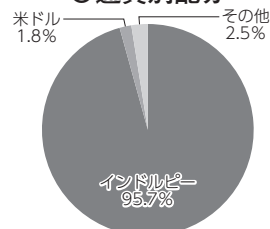
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

◆指数に関して◆

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、『S&P/IFC Investable India（円ベース）』です。S&P/IFC Investable Indiaとは、インドの非居住者がインド株式への投資を行うことを前提として、時価総額、流動性や非居住者に対する各種投資制限（個別株、業種等）等を考慮し算出された時価総額加重平均インデックスです。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。